

試合番号 : 131		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 700	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:59		試合時間 : 01:59		主審 : 富田 博一	
副審 : 中西 幸治		ウルブドッグス名古屋		通算 5勝 2敗 ポイント : 15		VC長野トライデント	
通算 0勝 7敗 ポイント : 1		23 第1セット 25		25 第2セット 18		25 第3セット 22	
25 第4セット 22		3		1		監督コメント	
監督コメント		VC長野は昨年と比べて、多くの新加入の選手がプレーしていたために、全く違うチームでした。ディフェンスにおいて、学ぶことがありました。課題であるコンビネーションの精度を試合を通して良くしていきたいと思っております。先週に引き続き、ここ豊田合成記念体育館「エントリオ」で試合ができることを嬉しく思います。明日も同じ対戦相手となりますが、これから準備をして挑みます。本日も会場のみならずウルブドッグス名古屋をサポートしていただいた皆様、ありがとうございました。		監督コメント		スタートから集中してVC長野らしいゲームができました。そこは非常に良かったと思います。第2セット以降はウルブドッグス名古屋の速い展開のラリーにリズムを作らせてもらえなかったもので、しっかり修正し、明日のゲームでは勝ちたいと思います。本日も熱い応援、ありがとうございました。明日もよろしくお祈りします。	
要約レポート		ウルブドッグス名古屋とVC長野トライデントの1戦。第1セット、WD名古屋はクレク、山田の鋭いアタック、傳田のノーマークでのアタックなどで立ち上がりから調子を上げていくと、中盤までテンポ良くゲームを進めていった。VC長野は14-17から森崎の2つのサービスエースを含む攻めたサーブで17-17と追いつくと、戸畷のサービスエースを皮切りに相手エースを止める中村のブロック、リヴァンのアタックでセットポイントを握るとそのままセットを先取る。第2セット、WD名古屋は傳田のサービスエースをきっかけに勢いを付けると、高梨、クレクのアタックが鋭く決まり、セッター前田のトスも各アタッカーに散らばり、幅のある攻撃を仕掛けセットを奪い返す。第3セット、WD名古屋・高梨のアタックポイントでスタートすると、両者譲らない試合展開となる。WD名古屋はクレクがアタック、ブロック、サーブで活躍し、戸畷、リヴァン中心の攻撃で食らいついてくるVC長野を僅差で引き離し、セットを取った。第4セット、VC長野はサーブレシーブを崩された中でも、戸畷、リヴァンが得点していたが、WD名古屋の勢いは止まらず、山田のアタック、クレクのアタックが決まり、ホームゲーム3勝目をあげた。					
試合番号 : 132		試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)				観客数 : 826	
開始時間 : 12:05		終了時間 : 14:02		試合時間 : 01:57		主審 : 戸川 太輔	
副審 : 原 啓之		東レアローズ		通算 2勝 5敗 ポイント : 7		FC東京	
通算 2勝 5敗 ポイント : 6		26 第1セット 28		25 第2セット 20		25 第3セット 21	
25 第4セット 20		3		1		監督コメント	
監督コメント		我々のホームゲームであり、先週の初勝利の勢いを止めないために大事な一戦であったと思う。第1セットは多少硬さが見られたが、途中から入った星野がリズムをしっかりと戻してくれた。明日も勝利できるようにしっかりと準備したい。たくさんの方の応援ありがとうございました。明日も東レアローズ男女へのご声援をよろしくお願いいたします。		監督コメント		滋賀大会、素晴らしい環境の中で試合ができることに感謝します。第1セット、競った中で良い形で取ることができたが、第2セット中盤以降、徐々に相手の勢いに押された形となった。相手の東レも非常に良かったが、我々がやるべきことを遂行できなかった。明日はさらにアグレッシブな姿勢で戦い切って勝利を目指す。本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート		第1セット序盤、東レアローズはパダルのサービスエースなどでリードした。FC東京は迫田、佐藤のスバイクなどで逆転し、中盤は一進一退の攻防となる。デュースにもつれ込み、最後は東レのクイックがネットを越えず、FC東京が接戦をものにした。第2セット、FC東京は佐藤のサービスエースや手原の多彩なトスワークでリードして試合を進める。東レは富松のサービスエースから粘り強く攻め、中盤で逆転する。その後、東レはサーブレシーブが安定し、クイックが効果的に決まり出すと、その勢いのままセットを取り返す。第3セット、東レはスタートから星野を投入し、手堅い守備から得点を重ねていく。FC東京は井上のクイックを多用し、相手ブロックをかかわして追いつけるが、終盤、東レは効果的にリリーフサーバーを投入し、セットを連取した。第4セット、東レはパダルのサイド攻撃を中心に得点しリードする。FC東京はセッターを山田に代え、リズムを変えようとしたが、東レの勢いを止めることができず、東レリードのまま中盤を迎えた。終盤も勢いを保った東レがセットを取り、セットカウント3-1で勝利した。					
試合番号 : 133		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 862	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:58		試合時間 : 01:58		主審 : 村中 伸	
副審 : 高橋 宏明		パナソニックパンサーズ		通算 6勝 1敗 ポイント : 18		サントリーサンバーズ	
通算 6勝 1敗 ポイント : 17		25 第1セット 17		21 第2セット 25		22 第3セット 25	
26 第4セット 28		1		3		監督コメント	
監督コメント		質が高い、素晴らしい試合を戦いましたが、ムセルスキー選手と柳田選手はやはりすごかったです。明日も同じように戦って、勝利したいです。応援よろしくお願いいたします。		監督コメント		本日も沢山のご声援ありがとうございました。予想通りタフな内容となりましたが、選手達はよく戦ってくれたと思います。第1セットは硬さが見られ、サンバーズのプレーができていませんでしたが、第2セット以降は本来の姿を取り戻してくれました。パナソニックのゲームメイクや戦い方は学ぶことが多く、この試合を経験したことによりさらに成長することができると思います。明日もいい試合ができるよう今から準備していきたいと思っております。引き続きサンバーズに熱いご声援をよろしくお願いいたします。	
要約レポート		パナソニックパンサーズとサントリーサンバーズの大坂ダービーは、セットカウント3-1でサントリーが制した。ここまで無敗のパナソニックは、序盤から清水がサーブにアタックに活躍し、流れをつかむと点差をつけて第1セットを奪った。第2セット、サントリーはセッター大宅の見事なトス回しで、リズムを取り戻した。柳田のサイド攻撃やバックアタック、塩田のクイックと多彩な攻撃でこのセットを奪い返すと、一気に流れはサントリーへと傾いた。第3セット、第4セットとパナソニックは、今村、渡辺を投入し再び流れを引き戻すと奮闘するも力及ばず、サントリーはムセルスキーの高さある攻撃で得点を重ね勝利を手にした。					
試合番号 : 134		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 948	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:21		試合時間 : 01:21		主審 : 服部 篤史	
副審 : 浜野 陽一		ジェイテクトSTINGS		通算 5勝 2敗 ポイント : 13		大分三好ヴァイセアドラー	
通算 0勝 7敗 ポイント : 0		25 第1セット 21		25 第2セット 14		25 第3セット 22	
第4セット		3		0		監督コメント	
監督コメント		今シーズン、刈谷でのホームゲームで初勝利することができ、嬉しく思います。試合の中で何度も劣勢な場面に立たされましたが、選手達が我慢よく耐えてくれ勝ち切ることができました。明日もまた良いプレーを出せるよう準備してまいりますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。		監督コメント		高松選手にとって230試合目ということで花を添えたかったのですが、相手のフローターサーブで崩され、結果的に自滅してしまいました。良いリズムを継続できるよう修正して、明日は勝利を目指して頑張ります。本日は応援ありがとうございました。	
要約レポート		先週に続いてホームゲームのジェイテクトSTINGSが大分三好ヴァイセアドラーを迎えた戦いはジェイテクトが勝利した。第1セット、大分三好が林のブロック、ストックトンのアタックなど良いスタートで3点リードする。その後中盤まで点を取り合う展開となるが、ジェイテクトが14-17から袴谷のアタック、フェリペのブロックなどで6連続得点し逆転する。最後は福山がセンターからアタックを決めセットを取った。第2セット、序盤からジェイテクトは袴谷、伏見、福山が4本のブロックを決め、15-5と大きくリードする。その後も袴谷が要所でアタックを決めるなどリードを保ち、このセットも福山が25点目を決めてセットを連取した。大分三好も途中ストックトンに代わって入った古賀がアタックを4本決めるなど反撃するが及ばなかった。第3セット、大分三好はバグナスの高い打点からのアタックやストックトン、川口の攻撃陣が機能し5点差をつける。しかしジェイテクトは15-20から袴谷、フェリペのアタックで同点に追いつき、伏見の連続ブロックでマッチポイントを迎えると最後は袴谷のアタックで勝利した。					

試合番号 : 135		試合会場 : 和歌山県立体育館				観客数 : 566				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:39		試合時間 : 02:39		主審 : 城 智人		副審 : 中山 健		
堺ブレイザーズ		通算 4勝 3敗 ポイント : 12		25 第1セット 21		JTサンダーズ広島		通算 5勝 2敗 ポイント : 16		
監督コメント	ホームで皆さんと勝利を分かち合うことができ、とても良かったです。3-0、3-1で勝つチャンスも充分ありましたが、それでも勝利することができて良かったです。JTサンダーズ広島はブロックがとても良いチームですが、我々がそれを上回るプレーができていたと思います。高野、樋口のパスにスパイク、松本、出来田のスパイクは非常に良く、開田、山本の献身的なプレーはチームの勝利を引き寄せる大きな力となりました。明日も勝ってホームで2連勝を掴み取ります。本日も熱い応援、ありがとうございます。			3	24 第2セット 26		2	本日も沢山のご声援ありがとうございました。フルセットまで持ち込むことはできませんでしたが、ラリーを作ることができて、最後まで取り切れなかったことが勝敗を分けたと思います。明日の試合は全てのプレーでよりアグレッシブに戦い勝利を目指したいと思います。		
	25 第3セット 21									
	24 第4セット 26									
	15 第5セット 11									
要約レポート										
堺ブレイザーズとJTサンダーズ広島の今シーズン第1戦。第1セット、堺のペースで始まったが、中盤にJT広島・深津のサービスエースが続き、JT広島が逆転する。しかし、その直後に堺も樋口のサーブで応酬すると、再び流れをつかみ勢いに乗ったままセットを先取した。第2セットは、堺がJT広島を迫る展開となった。堺が終盤にデュースに持ち込むが、その後痛いミスが続き、JT広島がセットを奪う。第3セット、決め手を欠くJT広島に対し、堺はセッター開田を中心としたコンビが牙を、終始リードしてセットを奪い返した。第4セット、後がないJT広島は中島を投入し、陳、エドガーを中心とした攻撃を仕掛ける。24-22と堺がマッチポイントを掴んだが、JT広島は小野寺、陳のスパイクが連続して決まり、再びデュースに持ち込む。この接戦もJT広島が制し、勝負は最終セットに持ち込まれる。第5セット、堺は松本、高野、ジョンらがフェイント、軟打を交えながら得点を重ね、フルセットの熱戦を勝ち切った。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント :		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント :		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント :		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									